

## 第2回 和田地域づくりを考える会概要

開催日	平成 21 年 9 月 4 日	開催場所	南房総市和田コミュニティセンター 3 階		
参加人数	27 人	開催回数	2	開催時間	午前 9 時 0 0 分 ～ 午前 1 1 時 4 5 分

### 1. 開催内容

1. 開 会
2. あいさつ
3. 第1回 ワークショップのまとめ
4. 新しいグループで話し合い
5. その他
6. 閉 会

### 【概要】

- 1 開 会
- 2 あいさつ 市民協働推進室長 山口幸弘
  - ・本日のワークショップは、グループ分けを行いますのでよろしくお願ひします。
- 3 第1回 ワークショップのまとめ (千葉工業大学 鎌田元弘教授)
 

各班の発表を学生により発表させることで議事進行  
発表前に鎌田教授より今後の考える会のテーマとして

  - 大きなテーマで話し合いを行おう
  - 情報を交換することが大事である。
  - この取り組みを続けることが市民の力となる。この力がこれから必要になる。

以下学生より前回の概要を発表

- 1 班 渡り鳥交流に着目して、すべてが観光に結びつく。安全安心につながる。結びを根付かせる。
- 2 班 景観、朝市と、海をつなげる発想。コミュニティービジネスにつながる。
- 3 班 地域資源が多数眠っていることの気づき。改善したり、残したりしたいものを市民が発見する。
- 4 班 農業資源は観光になりうるのか → 観光になり、街づくりにつながる。
- 5 班 サーファーに絞り込む着目もよい。海から丘へ上げる。サーファーの人材育成。どうするのかは市民力にかかっている。
- 6 班 すべての項目に観光スポットが入る。という結論までたどり着けたことがよかった。  
話し合いの中では、これまでのリーダの強い意見とその他の方々の意見をどうまとめるかが鍵である。
- 7 班 どんな街づくりにしたいのかというテーマに決まった。今後の街づくりにつながる話になった。
- 8 班 和田の元気には何が必要かという話をした。関係をもう少ししめすことができればよかった。

### 4. 新しいグループでの話し合い

☆市民協働推進室平川よりグループ分けの説明

- 今回のグループ分けでグループが決定する訳ではない。必要、興味があればグループ変更はかまわない。

●特に中間支援班は、地域を横軸につなげる重要なもの。本地域の縁の下の力となれる方をお願いする。

☆鎌田教授から補足説明（中間支援について）

例えば、大学には様々な専門家がいます。昆虫の専門家、蟻の専門家、蟻の目玉の専門家、蟻の涙の専門家など専門家がいます。全体の要素を見て、つないで蟻、昆虫を見るまさしく、「木を見て森を見ず」であり、これらをつなげて、全体を見ることが中間支援である。地域にも様々な専門家がいます。これをつなげてまちづくりを行うのが中間支援である。今は、行政がこのような場を設けているが、これからは、市民が場を設定して、行うことが望まれる。

市民協働が一人歩きしている地域では、この中間支援を民が担っている。

中間支援組織が育ってくれば、国・県・財団などから財源を引っ張り出す役割を担うことになる。

ファシリテータ⇒コーディネータ

☆暫時休憩の後、目的別班分けを行った。班別の協議内容については別記。

班編成については以下のとおり。

- ・ 中間支援班      ファシリテート研修、各班の横断・総括的な協議
- ・ いきがい班      社会貢献・生涯学習などについての協議
- ・ 安心班            子ども・高齢者の安全や災害対策などについての協議
- ・ 賑わい班          物販飲食、情報発信などについての協議